

# 皆さまの声を「カタチ」に

## 小柴崎緑道

市営柴町住宅そばの小柴崎緑道。松林の風光明媚な散歩道ですが「大量の落ち葉で歩きづらい」とのお声。しっかりと清掃し、快適な散歩道が復活しました。



## こどもログハウス前

並木一丁目・金沢住宅そば。雑草に覆われて、こどもログハウスに抜ける小道が通れない状態に。そこで、しっかりと草刈りをして、本来の歩道を回復しました!



## 横浜こどもホスピス「うみとそらのおうち」をイベントで応援

### 金沢漁港フェスタでチャリティイベント

2月25日、あいにくの冷たい雨にも関わらず、多くの来場者が、海産物の直売、多彩な催しなどを満喫。うみそら応援市民の会と共催出展した「横浜こどもホスピス」チャリティブースにも多くの皆さまにお立ち寄り頂きました。



### 「うみそらチャリティマーケット」も大盛況

3月8日、9日に金沢八景駅前・ベーカリーハウスアオキ8Kギャラリーにて開催。多様なハンドメイド雑貨の店に加えて、カナダ育ちで12歳から現地オーケストラに所属するバイオリン奏者の小川伊志郎さん、ドイツ出身のピアニストのハンスマン弥央さんによるチャリティライブも。熱い真心のあふれる素晴らしい演奏に、こどもホスピスへの理解と支援の輪が広がりました。

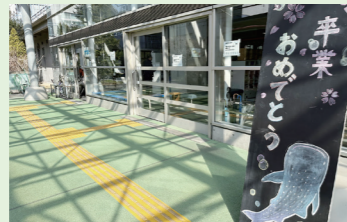


## 市民の皆さまと共に



2月23日、海の公園では金沢区ロードレース、小学生駅伝大会を開催。冷たい雨、厳しい寒さも子どもたちは元気いっぱいです。

3月15日、暖かな晴天の下、金沢支援学校の小学部・中学部の卒業式。一人ひとりの個性を大切に、児童生徒同士の交流も深く、温かい支援・教育の成果を感じる、素敵な卒業式でした。



金沢まつり花火大会  
金沢  
←金沢公会堂 入口に設置しています

3月7日、金沢まつり実行委員会を開催。今年の花火大会・いきいきフェスタは第50回の節目であり、より充実した企画を提案する一方で、物価高騰などによる財源不足が大きな課題です。区民主権の大切な祭典の継続へ、皆さまのご支援をお願い致します。

# たけのうち通信 Vol.108

令和6年4月

Vol.108

takenouchi News

公明党

発行責任者: 竹野内 猛  
〒236-0052 横浜市金沢区富岡西3-38-1-101  
TEL: 080-9804-9782 FAX: 045-345-4345  
E-mail: info@takenouchi-takeshi.com



## 略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。49歳。金沢区富岡東在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選、現在3期目。

## 横浜市政の充実へ、全力の論戦

### 市民の皆さまの暮らしに360度の目配り

3月22日、公明党市議団を代表して6年度予算案に対する連合審査会に登壇。37項目の質問、17項目の要望について市長・副市長をはじめ各局長の見解を質し、それぞれ施策の前進・充実につながる前向きな答弁を頂きました。以下、抜粋してご報告します。

横浜市会インターネット中継もご覧ください

横浜市会中継

検索



## 災害に強いまちへ

### 大規模地震災害へ備える

#### 質問・要望

- ① 個別避難計画の作成加速を
- ② 福祉避難所の充実を
- ③ ペット同行避難の環境整備を

#### 答弁

- 作成対象区、対象者の拡大を検討します
- 新たな協定先の拡充に取り組みます
- 全拠点で受け入れ出来るよう取り組みます



本年元日には石川県能登地方を震源とする大規模な地震が発生しました。あらためて、災害への対策は待たないことを実感しており、高齢者や障害者といった、いわゆる災害弱者と言われる方々の命を、守り抜く対策の充実が急務です。

### 横浜逗子線のトンネル整備着手へ!



#### 質問・要望

今回の予算案では、横浜逗子線トンネル工事として、60億円を限度額とする債務負担が設定されました。平成16年の事業認可以降、国費がつかず、動かない時期もありましたが、当局による精力的な働きかけにより、令和3年度から重点事業に位置付けられ、わずか3年でトンネル工事の発注準備が整えられたことを、高く評価しています。引き続き、スピード感をもって整備が進むことを期待しています。

#### 答弁

通学路の安全、災害対策にも有効な重要な道路です。7年度に工事着手できるように取り組みます。

現在の工事進捗状況を六浦側から空撮



### 横浜逗子線トンネルの整備効果

- ① 生活の安全...周辺の狭い生活道路・通学路に流入する通過交通が減少
- ② 国道16号、環状4号、笹下釜利谷道路と合わせ、災害に強い道路ネットワークが完成
- ③ 国道16号の渋滞緩和

### 君ヶ崎交差点への横断歩道設置も併せて要望! 《質問より抜粋》

金沢区では、国道357号の八景島から横須賀方面への延伸工事が進められていますが、横浜逗子線の整備と相俟って、期待されるのが国道16号の大幅な渋滞緩和です。

その国道16号上にある君ヶ崎交差点は、区役所や金沢文庫駅に近い区心部に位置し、歩行者や自転車の通行も非常に多いところですが、横断歩道はなく、バリアフリー対応のなされていない歩道橋があるだけで、多くの皆さまより、大変に不便であるとお声を頂いています。国道16号の渋滞が緩和するのであれば、これを機に、ぜひとも横断歩道を設置して頂きたいというのが、区民の皆さまの願いです。併せて、国に働きかけていただくよう要望致します。



## 暮らしやすく賑わう金沢区へ

### 地域密着の公共交通の維持・確保へ

#### 質問・要望

高齢化に伴う体力低下や運転免許証の返納などにより、移動課題への対応は待ったなしの状況です。地域交通サポート事業の運行改善や定着に向け施策改善を図って頂きたいと思えます。

#### 答弁

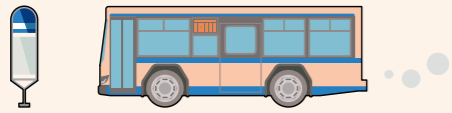
(現行の12か月を超える)十分な運行期間を取っての機運醸成、運行計画の改善に取り組みます。

#### 東朝比奈・六浦地区のバス路線再開へ大きな一歩!

現在運行を中止している東朝比奈・六浦地区の路線の早期再開へ、運行条件の緩和とさらなる支援を求めていましたが、一連の答弁で「実証運行期間の延長」や「本格運行への財政支援」について検討を始めるとの方針が示されました。運行再開と定着に向けた、大きな前進と考えています。



市営バス321系統の減便を受け、小柴自然公園やリネツ金沢、金沢水際線緑地など沿線の各施設の利用促進と合わせて、バス路線の延長や再編を検討して頂くよう、要望しました。



#### 質問・要望

公明党は、高齢者の社会参加の促進や健康維持のため、敬老バス制度を長年にわたり積極的に支持してきました。制度の維持および利便性の向上を図って頂きたいと思えます。

#### 答弁

スマホアプリ、QRコード、クレカタッチ決済など各地の様々な実証実験を注視しながら、利便性向上への検討を進めます。

シーサイドライン利用者の利便性向上も、併せて要望しました。



### 横浜の多様な魅力と賑わいへ

#### 質問・要望

漁港における賑わい施設の整備に当たって、漁業者の創意工夫を積極的に生かすべきです。

#### 答弁

漁業者の皆さまとの定期的な検討会を開催しており、未利用魚を活用した賑わい施設での新たな飲食メニューの導入など、漁業者の創意と工夫を生かした取組を行っています。

引き続き、賑わい施設整備や漁港施設改修を着実に推進し、さらに横浜の海や漁と触れ合える場を創出して頂くことを要望しました。

#### 漁港の新名物「黒鯛フィッシュバーガー」!

2月25日に開催された金沢漁港フェスタでお披露目。近海で獲れた大きな黒鯛のフライを地元ベーカリーのパンで挟んだ絶品メニュー。柴漁港での新たな賑わい・飲食施設での提供を予定しています。



#### 質問・要望

令和元年の台風で破壊された福浦の護岸を強靱化し、東京湾が一望できる海釣り遊歩道として開放した金沢水際線緑地を、これからさらに多くの皆さまにご利用頂きたいと思えます。

#### 答弁

今後もスポーツ、音楽、ペットのイベントなど、積極的な賑わいへの活用を図ります。



#### 質問・要望

脱炭素化の加速へ、横浜港の水辺を積極的に活用しブルーカーボン等をさらに展開すべきです。

#### 答弁

港湾脱炭素化推進計画において、ブルーカーボンの面積、CO2吸収量等の目標の数値化について検討を進めます。

#### 質問・要望

郊外部の観光・誘客の活性化へ、多様な観光資源の活用、近隣自治体との連携強化を図るべきです。

#### 答弁

多様な観光資源を連動させることで市内の回遊促進を図ります。また鎌倉・三浦の食や、県内・東京とも連携した多様なプランを提供して宿泊・滞在促進につなげていきます。

## 子育てを支援、教育環境を充実

### 児童手当を大幅に拡充

#### 質問・要望

公明党が、創設・拡充を一貫してリードした児童手当が、いよいよ10月から抜本的に拡充されます。新たに支給対象となる皆さまへの周知をしっかりと行って頂きたい。

#### 答弁

「所得制限の撤廃」「支給期間の高校生年代までの延長」「多子加算額の増額」も図られ、これまでの対象(約35万人)に加え新たに約13万人が支給対象になります。受給には申請が必要なため、ダイレクトメール、各種広報、学校を通じてお知らせして参ります。

### 切れ目のない療育へ

#### 質問・要望

中学生・高校生年代の特に発達障害を疑われる子への切れ目のない支援が重要であり、「義務教育と高等学校のきめ細やかな接続」、「高校段階での支援」の充実をかねてより訴えています。

#### 答弁

5年度に相談支援拠点を1か所追加して4か所に。6年度はソーシャルワーカーを追加配置して学校・療育センター等との連携など支援の充実を図ります。また5年度より、横浜総合高等学校での自校通級を開始し、約50名の生徒を対象に個別指導を実施。6年度は、拠点校の担当教員が全市立高校を巡回し、生徒の学校生活の安定、教員の理解の向上を図ります。



## 誰も生きづらさを感じない社会へ

### 若者の自殺防止へ

#### 質問・要望

厚労省の発表によると、令和4年の小中高生の自殺者数が全国で514人と、過去最多となっています。「第2期横浜市自殺対策計画」の実効性を高めるため、市役所内部や関係者間の連携推進を図って頂きたい。

#### 答弁

多様な関係者が連携・協力することが重要で、民間の支援団体や企業・地域など社会的なネットワークを活かして自殺を防ぎます。

#### 質問・要望

学校における取組の充実へ、子どものSOSの出し方教育の毎年の実施、児童生徒の抱える課題・悩みごとの把握に1人1台端末を活用すべきです。

#### 答弁

SOSの出し方教育を着実に実施します。また学校支援システムを活用し、生徒が個々に体調や心の様子を入力できるようにします。



### ヤングケアラーを護る

#### 質問・要望

子どもの気持ちに寄り添ったヤングケアラー支援を求めます。

#### 答弁

SNS相談を開設し、子どもの声を受け止める場を作ります。また、地域や学校など、様々な関係者とも連携して対応していきます。

### 妊娠・出産・子育てを切れ目なくサポート

#### 質問・要望

公明党がこれまで協力を設置を推進してきた「子育て世帯包括支援センター」、支援が必要な家庭の早期発見、虐待の未然防止へ切れ目のない支援を目指す「こども家庭総合支援拠点」が、6年度から設置を開始する「こども家庭センター」へ発展的に統括されます。

#### 答弁

6年度から3区に設置し、順次18区全てに展開し、一人一人の状況に対応した支援、地域の子育て支援のネットワーク化を進めていきます。

### 性的マイノリティ支援の充実

#### 質問・要望

横浜市では公明党が主導し令和元年12月より、パートナーシップ宣誓制度をスタートし、性的マイノリティの皆さまへの支援を拡充しています。誰もが差別的な扱いをされず、安心して暮らせるよう、さらに理解が広がる取組を求めます。

#### 答弁

これまでに415組の方がパートナーシップ宣誓制度を利用されました。4月からはオンライン申請を導入し、利便性の向上や待ち時間の短縮、休日の受付もできるようにします。



### 若者・おひとりさま支援

#### 質問・要望

子育て・出産支援だけでなく、その前の若者の結婚支援、あるいは「おひとりさま」の潜在的な課題に光を当てていくべきです。

#### 答弁

若者がライフプランを描ける支援、結婚セミナーの開催など、引き続き支援に取り組めます。また、市民意識調査において単身・独身の方のニーズについて更なる分析を行い施策を検討していきます。